

証券コード:6616

第20期(2015年3月期)  
決算説明会

2015年5月19日

トレックス・セミコンダクター株式会社

# 1 市場動向

アナログ電源IC市場規模  
当社の位置づけ

# 2 第20期の実績

売上推移  
営業利益推移  
概況

# 3 今後の展望

当社が目指す姿  
取り組む課題  
戦略的先行投資  
新事業領域の獲得

新中期経営計画  
ターゲットアプリケーション  
ウェアラブル売上について  
地域別売上拡大計画

# 4 新体制について

# 5 還元方針

基本方針

# 1 市場動向

アナログ電源IC市場規模  
当社の位置づけ

# 2 第20期の実績

売上推移  
営業利益推移  
概況

# 3 今後の展望

当社が目指す姿  
取り組む課題  
戦略的先行投資  
新事業領域の獲得

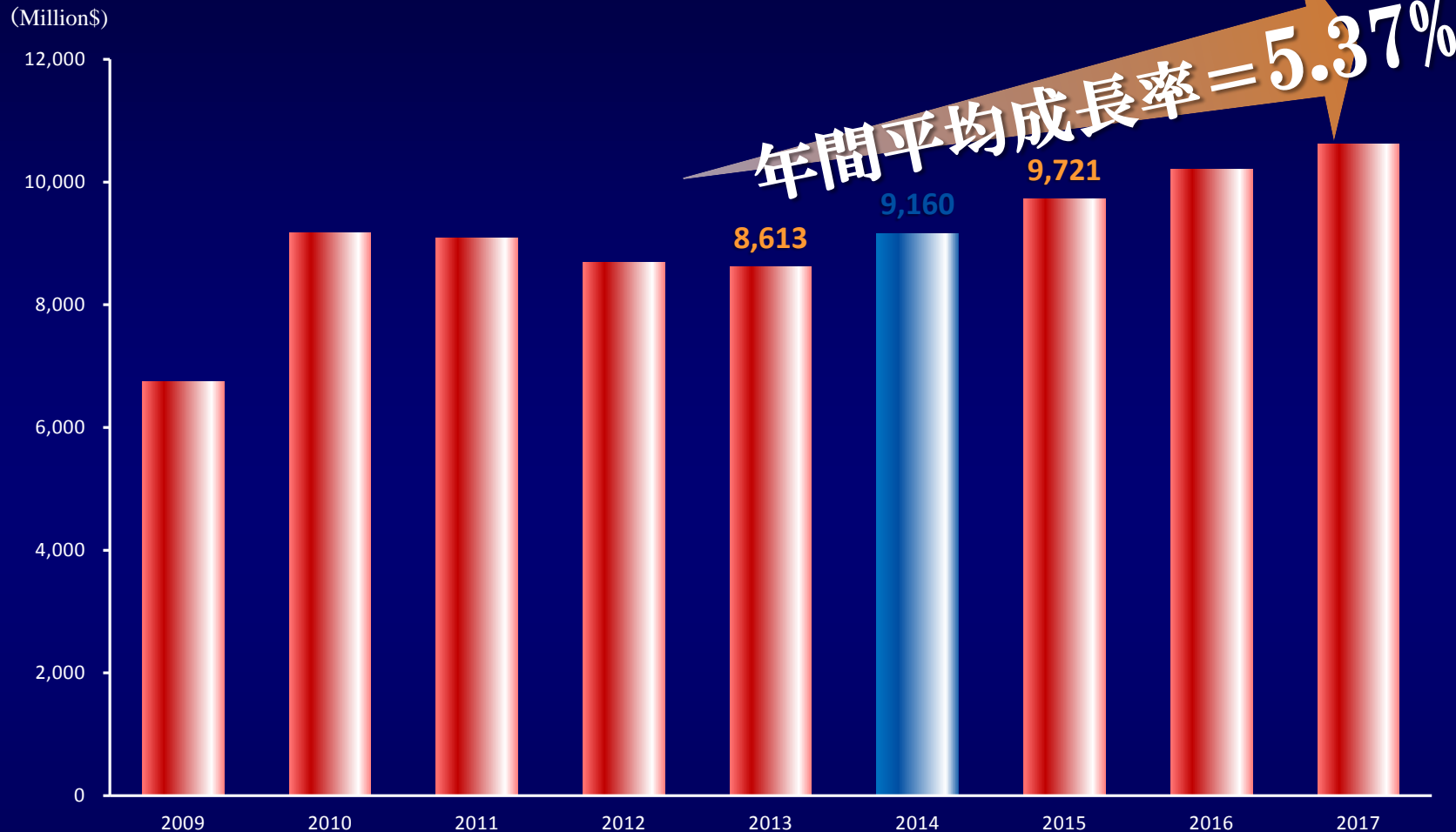
新中期経営計画  
ターゲットアプリケーション  
ウェアラブル売上について  
地域別売上拡大計画

# 4 新体制について

# 5 還元方針

基本方針

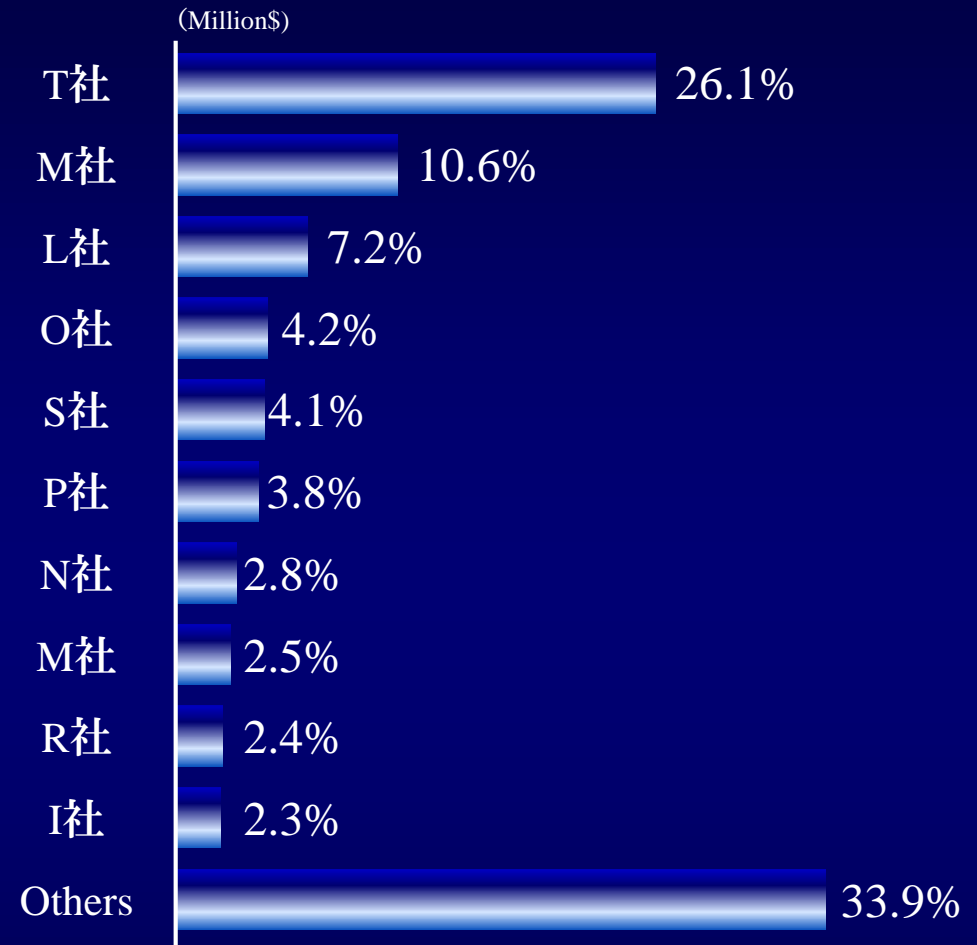
# アナログ電源IC市場規模の年次推移



【出典】IHS Global株式会社調べ(2015年)

電源IC市場は、年間平均成長率5.37%の  
1兆円市場(2015年時点)です。

# 市場における当社の位置付け



【出典】IHS Global株式会社調べ(2015年)

電源IC市場は、絶対的な強者は存在しないため、市場占有率拡大の余地は大きいと考えています。

# 1 市場動向

アナログ電源IC市場規模  
当社の位置づけ

# 2 第20期の実績

売上推移  
営業利益推移  
概況

# 3 今後の展望

当社が目指す姿  
取り組む課題  
戦略的先行投資  
新事業領域の獲得

新中期経営計画  
ターゲットアプリケーション  
ウェアラブル売上について  
地域別売上拡大計画

# 4 新体制について

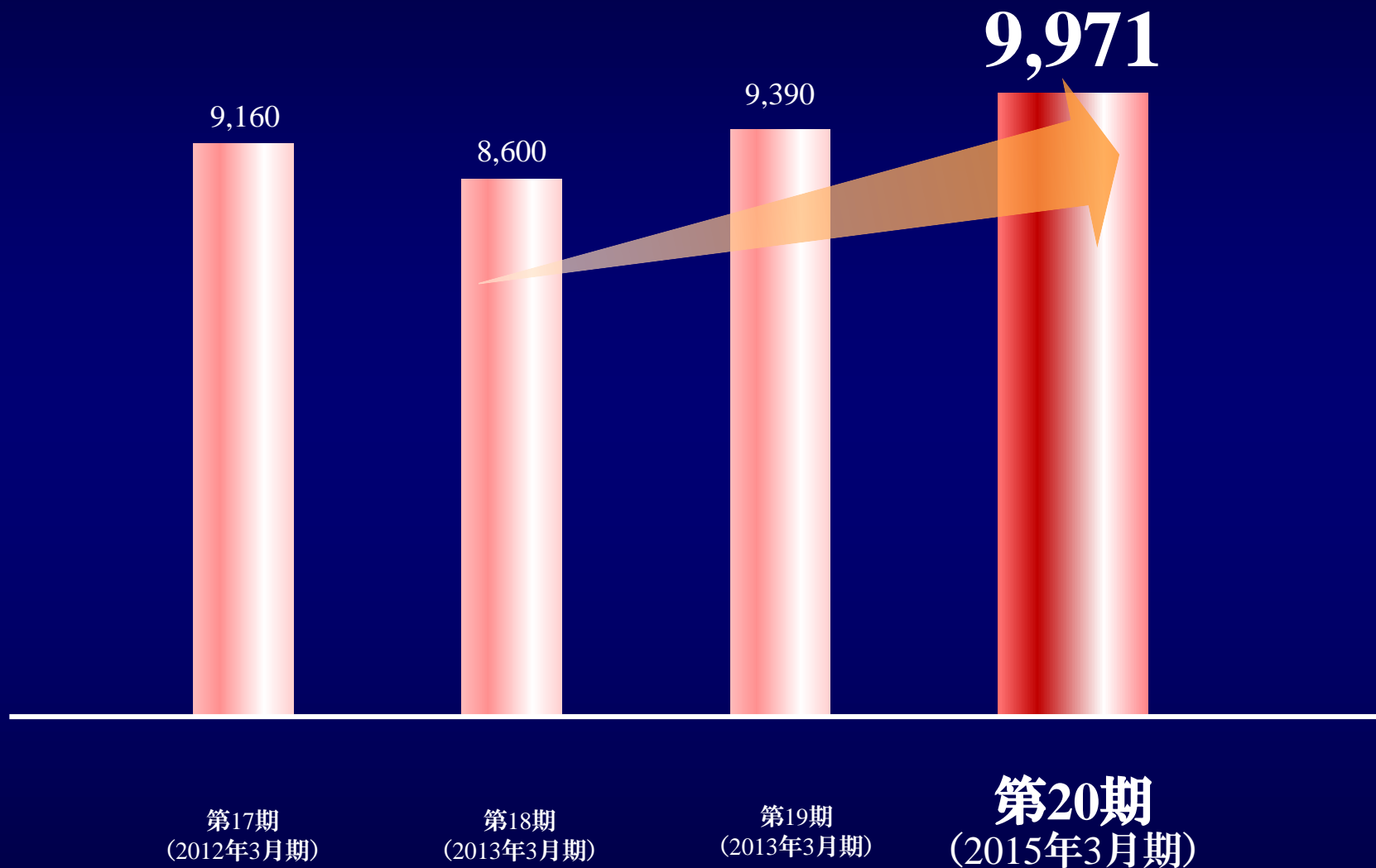
# 5 還元方針

基本方針

(百万円)

# 売上推移

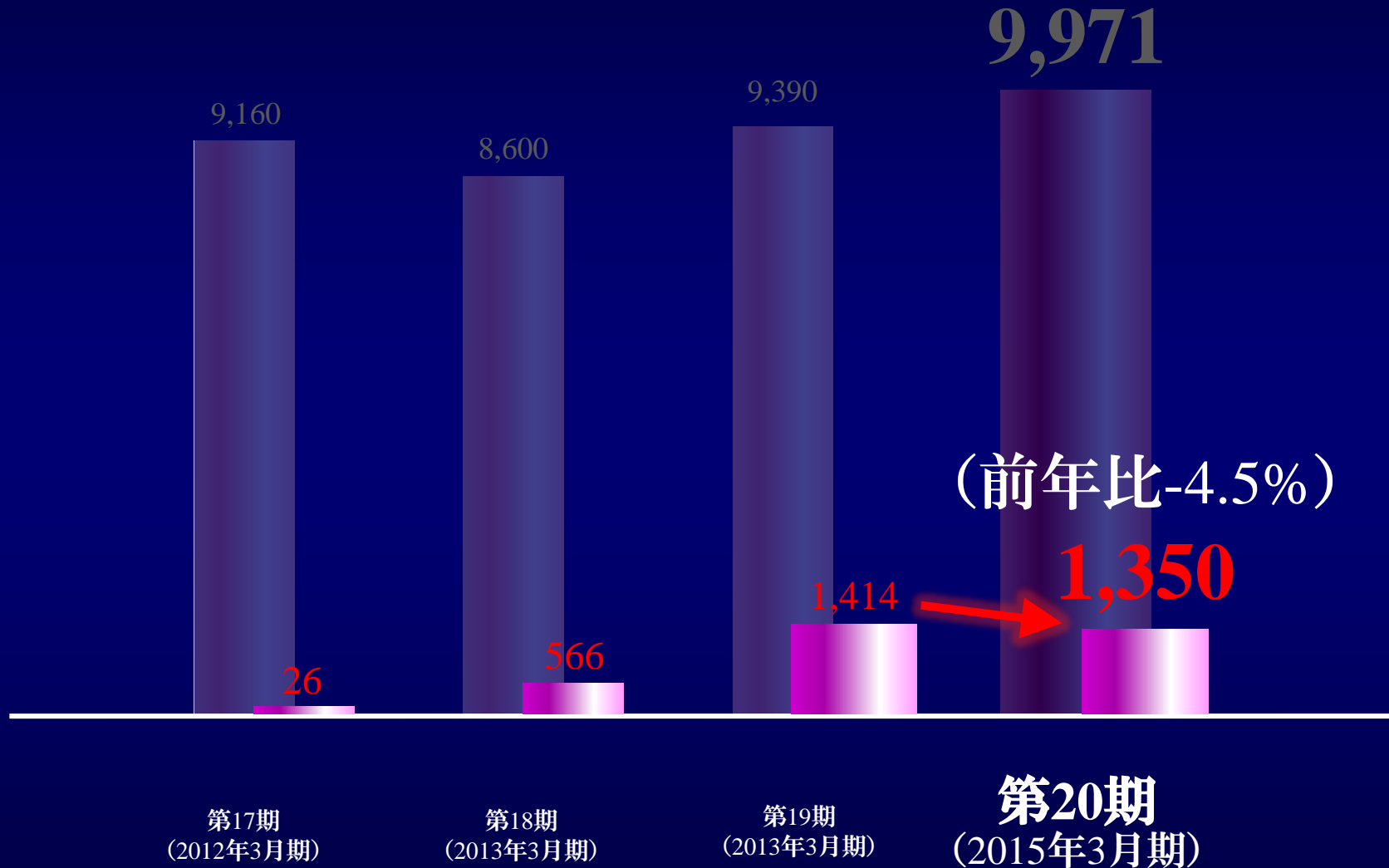
(前年比+6.2%)



前年比+6.2%、2年連続増収を達成しました。

# 営業利益推移

(百万円)



先行投資により前年比4.5%減少となりました。



# 概況

(単位:百万円)

科目	第19期 実績	第20期 実績	増減率 (%)
売上高	9,390	9,971	+6.2
営業利益	1,414	1,350	▲4.5
経常利益	1,339	1,678	+25.4
当期純利益	1,357	1,247	+8.1
平均為替 レート(1\$=)	¥99.7	¥109.2	—
営業利益率	15.1%	13.5%	▲1.6 (ポイント)
海外売上高 比率	70.5%	71.7%	+1.2 (ポイント)

(単位:百万円)

科目	第19期 実績	第20期 実績	増減率 (%)
流動資産	9,410	10,753	+14.3
固定資産	1,390	2,417	+73.9
資産計	10,800	13,170	+21.9
流動負債	2,413	1,886	▲21.8
固定負債	482	394	▲18.3
負債計	2,895	2,281	▲21.2
純資産合計	7,904	10,889	+37.8
負債純資産計	10,800	13,170	+21.9

科目	第19期 実績	第20期 実績
有利子負債 (百万円)	1,229	111
自己資本比率 (%)	72.9	82.3
D/Eレシオ	0.16	0.01

科目	第19期 実績	第20期 実績
ROE (%)	19.1	13.3
ROA (%)	12.6	14
EBITDA※ (百万円)	1,872	1,754

科目	第19期 実績	第20期 実績
従業員数	329	342

※営業利益+減価償却費

# 1 市場動向

アナログ電源IC市場規模  
当社の位置づけ

# 2 第20期の実績

売上推移  
営業利益推移  
概況

# 3 今後の展望

当社が目指す姿  
取り組む課題  
戦略的先行投資  
新事業領域の獲得

新中期経営計画  
ターゲットアプリケーション  
ウェアラブル売上について  
地域別売上拡大計画

# 4 新体制について

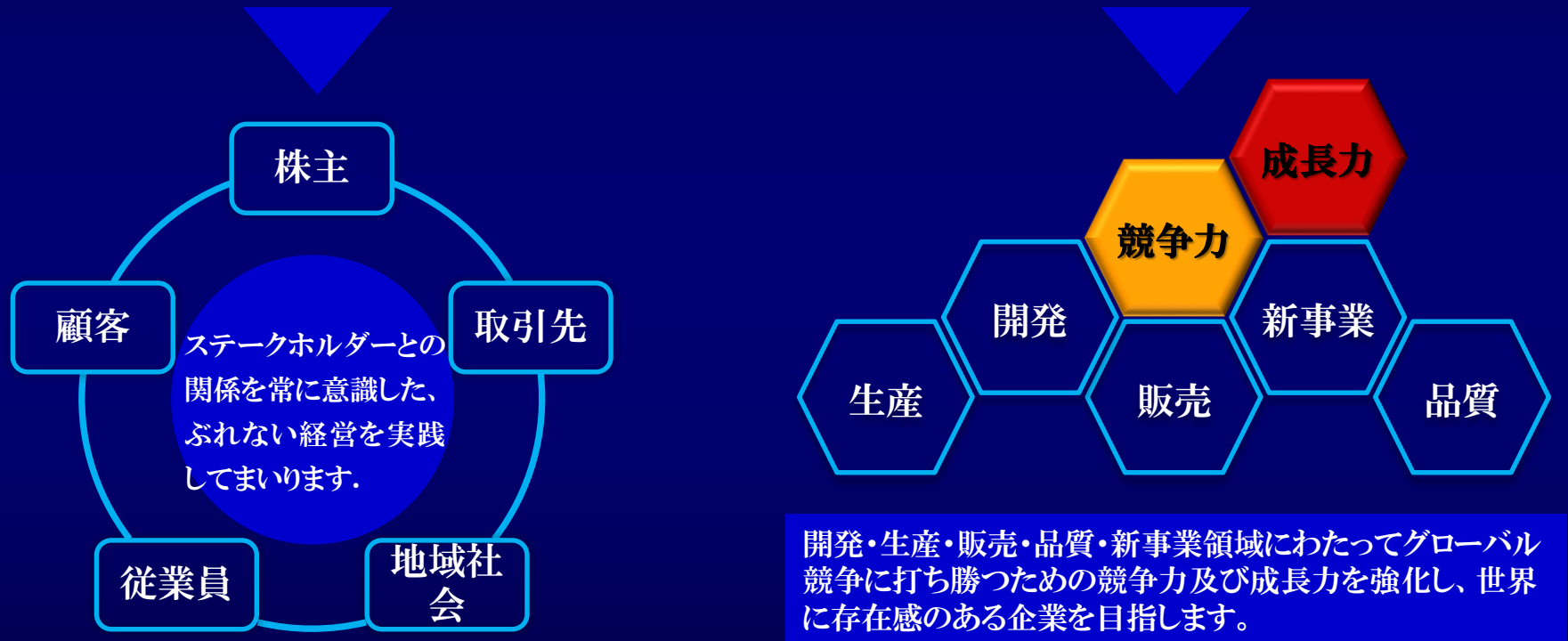
# 5 還元方針

基本方針

# 当社が目指す姿

## 企業理念

常に豊かな知性と感性を磨き、市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献するとともに、私たちの事業に携わるすべての人々が共に繁栄する



ステークホルダーとの関係を尊重し、  
世界に存在感のある企業を目指します。

# 取り組む課題

## 中期経営計画 (2012～2014年度)

当社グループは3か年中期経営計画に基づき、企業体質の改善と収益力の確立に努めてまいりました。

### ■ 収益力の確立

営業利益率 0.5% ⇒ 13.8%

### ■ 重点分野のシフト

車載・産機の売上が全体の  
20%強 ⇒ 36%

## 新中期経営計画 (2015～2017年度)

新中期経営計画においては、培ってきた収益力を確保しつつ、戦略的な投資を実施することによって、以下の課題に取り組み、「世界に存在感のある企業」を実現します。

- 当社グループの強みを活かせる成長性の高い市場として、産業機器・車載機器・医療機器の市場を集中的に攻略する
- 当社グループの技術力及びノウハウを結集し、技術ロードマップに基づいた「強み」の強化と拡張を図り、差別化された特長のある製品を創造する
- 戦略的提携を活用して新たな基盤技術や生産技術を積極的に取り込む

新中計では中長期の成長力を確立するための課題に取り組んでまいります。

# 戦略的先行投資(開発力強化)

人材・設備へ先行投資を行い、開発力を更に強化していきます。

## 人材投資

他社の優秀な  
電源設計エンジニアの  
積極採用



## 設備投資

新技術(製造プロセス)に  
対応した最新設計ツールの  
導入

# 新事業領域の獲得

提携先との共同開発を推進し、新しい事業領域を獲得していきます。

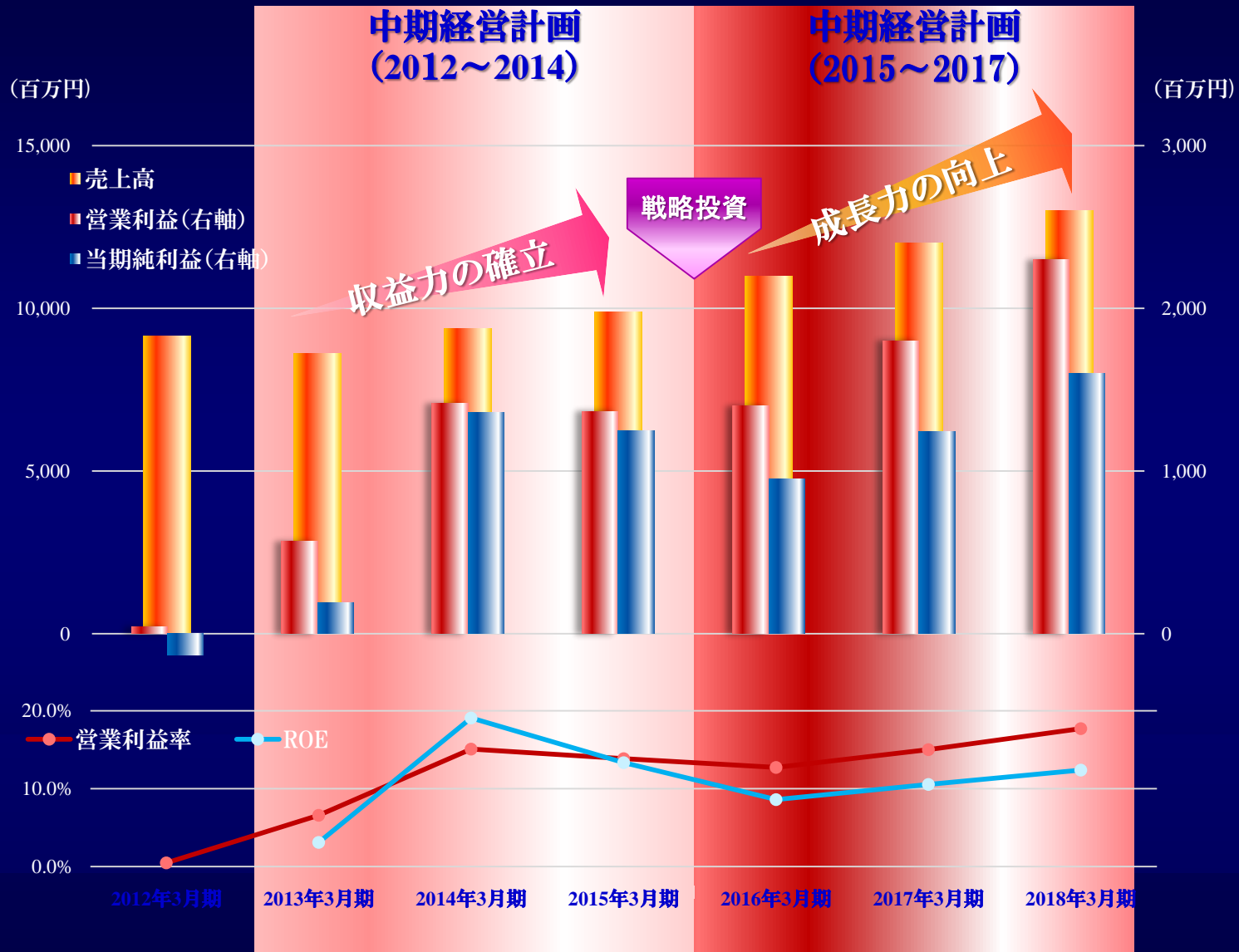


## 技術協業

他社のセンサー技術を導入  
新しい製品群で新たな  
成長市場へ参入(\*1)

(\*1) 詳しくは補足資料のP.22をご確認ください。

# 新中期経営計画

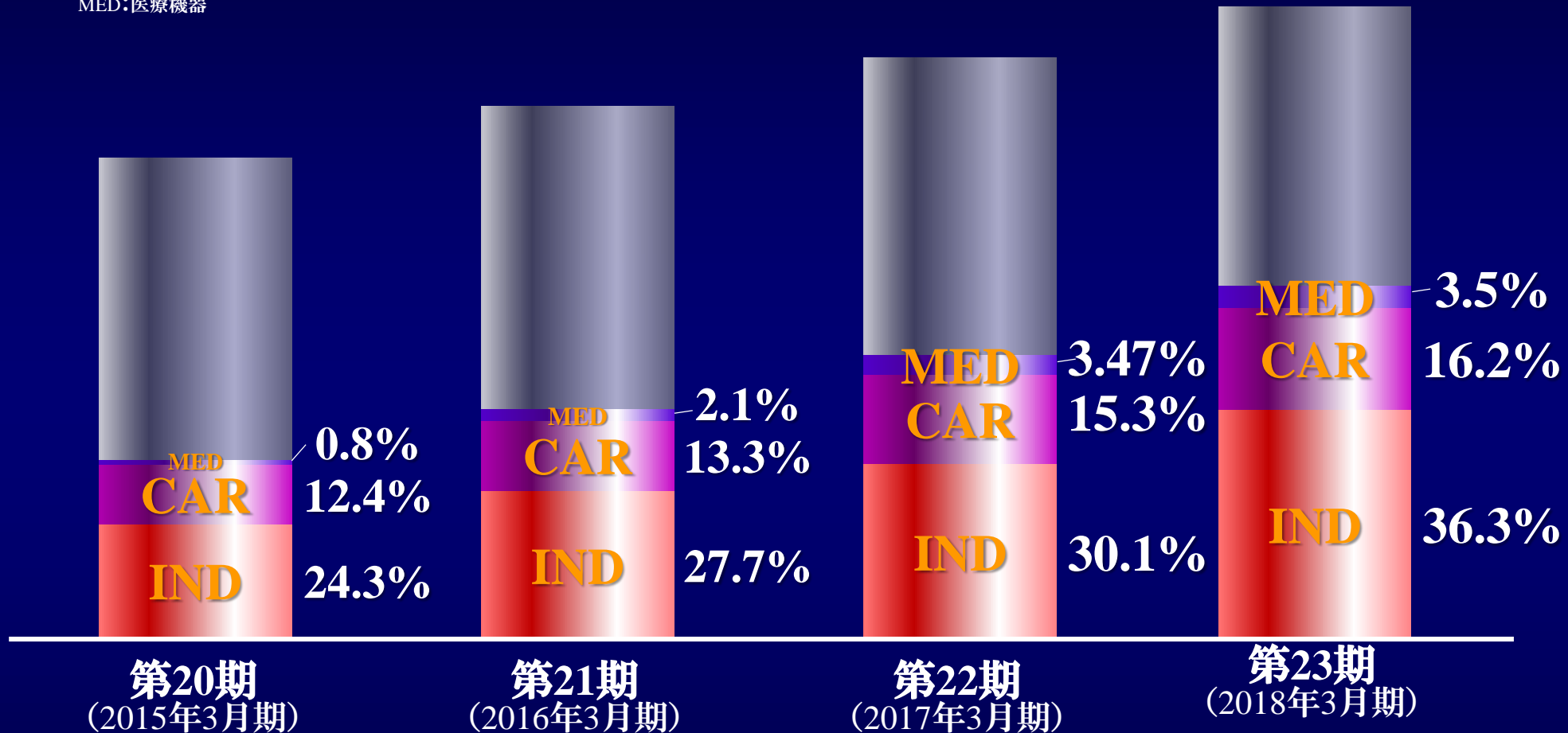


売上高130億、営業利益率18%、ROE12%を目指します。

# ターゲットアプリケーション

(百万円)

IND:産業機器  
CAR:車載機器  
MED:医療機器



産業機器(IND)・車載機器(CAR)・医療(MED)機器の売上を  
全体の55%まで引き上げます。



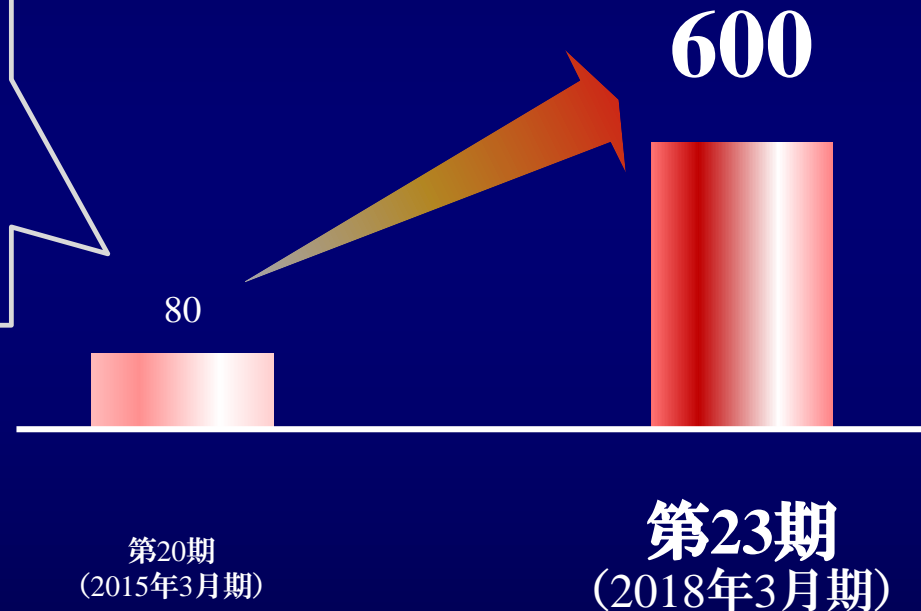
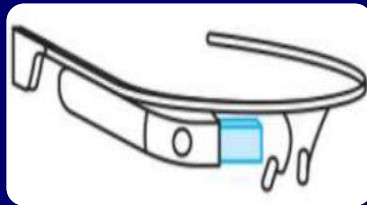
# ウェアラブル売上について

## 搭載製品イメージ

リストバンド型



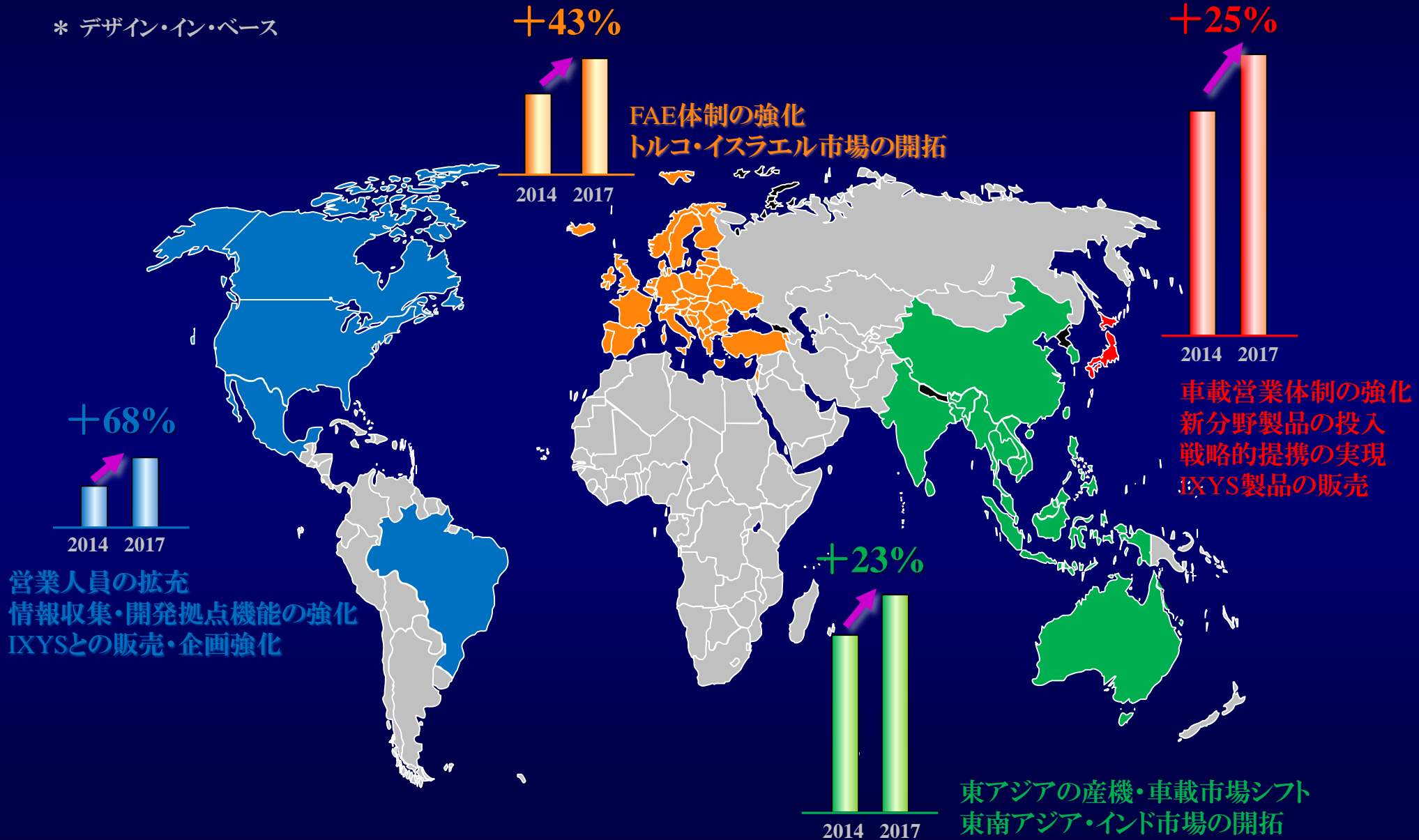
メガネ型



現在、リストバンド型とメガネ型等に採用されており  
第23期6億の売上を目指しています。

# 地域別売上拡大計画

\* デザイン・イン・ベース



# 1 市場動向

アナログ電源IC市場規模  
当社の位置づけ

# 2 第20期の実績

売上推移  
営業利益推移  
概況

# 3 今後の展望

当社が目指す姿  
取り組む課題  
戦略的先行投資  
新事業領域の獲得

新中期経営計画  
ターゲットアプリケーション  
ウェアラブル売上について  
地域別売上拡大計画

# 4 新体制について

# 5 還元方針

基本方針

# 新体制について



代表取締役の追加選任により経営体制を強化します。

# 1 市場動向

アナログ電源IC市場規模  
当社の位置づけ

# 2 第20期の実績

売上推移  
営業利益推移  
概況

# 3 今後の展望

当社が目指す姿  
取り組む課題  
戦略的先行投資  
新事業領域の獲得

新中期経営計画  
ターゲットアプリケーション  
ウェアラブル売上について  
地域別売上拡大計画

# 4 新体制について

# 5 還元方針

基本方針

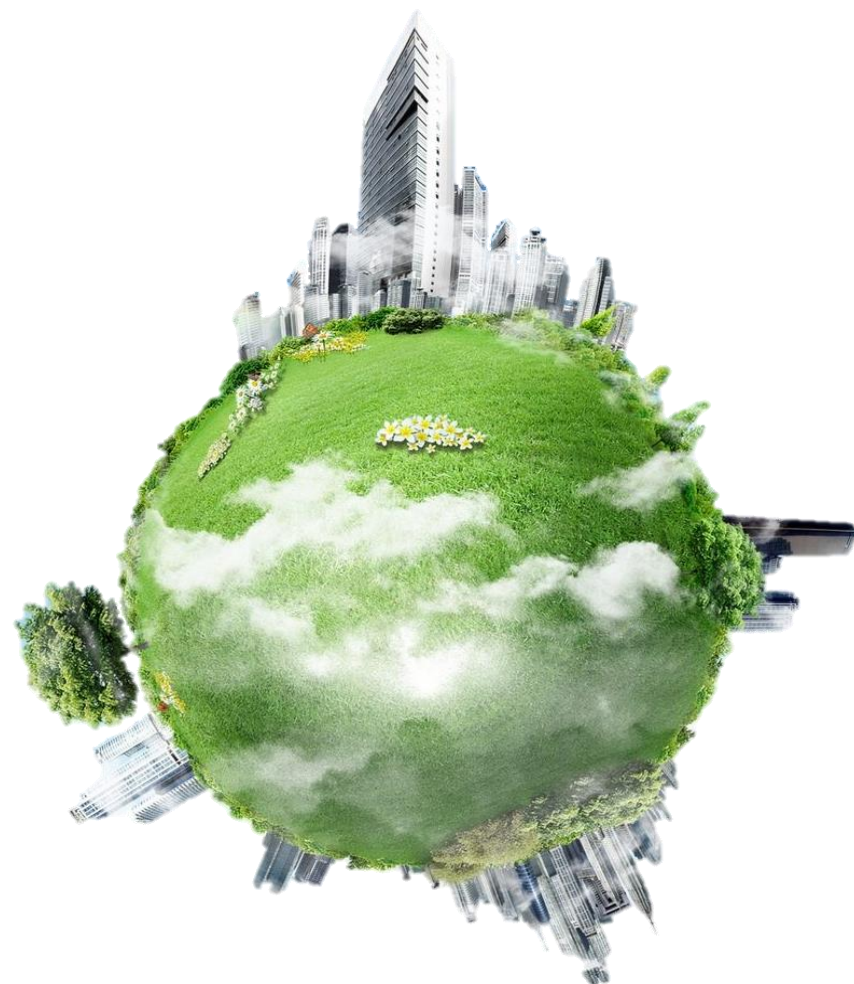
# 株主還元方針

戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことといたします。

配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の拡充として株主資本配当率(DOE)3%程度を当面の目標として実施してまいります

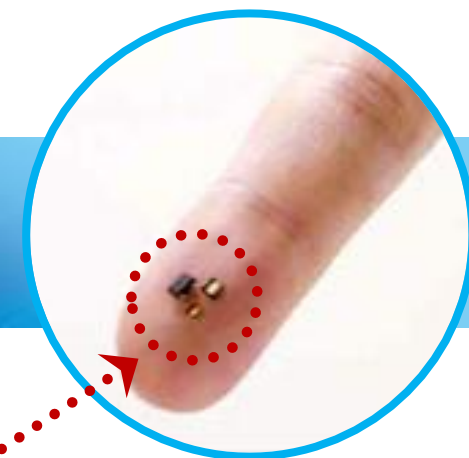
# Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、  
市場に適応した価値ある製品を創出し、  
豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献するとともに、  
私たちの事業に携わるすべての人々が  
共に繁栄すること



トレックス・セミコンダクター株式会社

# 2015年3月期 決算説明補足資料



私たちトレックス・セミコンダクターは

**小型化・省電力化で**

豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献します

2015年5月19日



内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）業績予想	16
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	17
1-2. 電源ICへの想い	4	3-2. 地域セグメント別	18
1-3. 主力製品群	5	3-3. 製品群別	19
1-4. 当社の特徴	6	3-4. アプリケーション別	20
2. 第20期（2015年3月期）実績	9	4. 狙いの新事業領域	21
2-1. P/LとB/S	10	4-1. 開発製品	22
2-2. 地域セグメント別	13	4-2. 市場動向	23
2-3. 製品群別	14		
2-4. アプリケーション別	15		

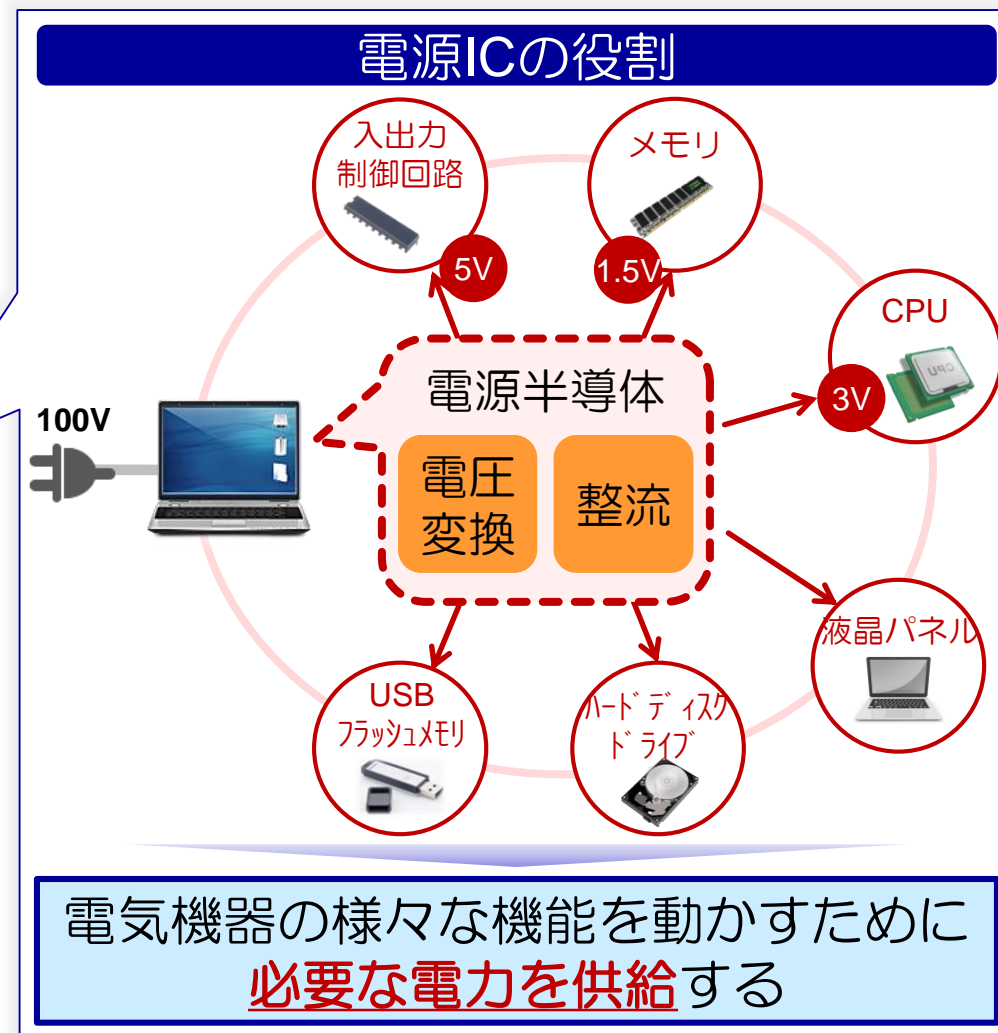
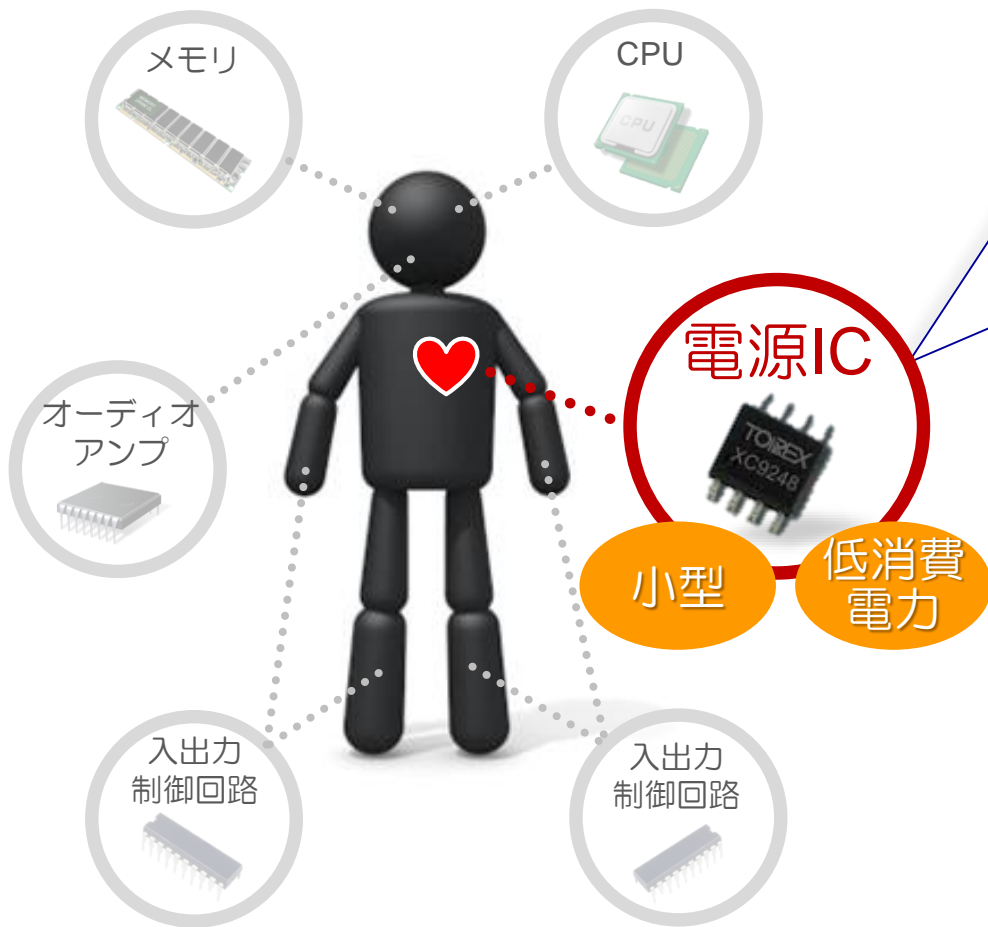
内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）業績予想	16
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	17
1-2. 電源ICへの想い	4	3-2. 地域セグメント別	18
1-3. 主力製品群	5	3-3. 製品群別	19
1-4. 当社の特徴	6	3-4. アプリケーション別	20
2. 第20期（2015年3月期）実績	9	4. 狙いの新事業領域	21
2-1. P/LとB/S	10	4-1. 開発製品	22
2-2. 地域セグメント別	13	4-2. 市場動向	23
2-3. 製品群別	14		
2-4. アプリケーション別	15		

# 1. 会社概要

## 1-1. 事業内容

- 電気機器の「心臓」の役割を担う、小型・低消費電力（業界トップクラス）の電源ICを開発・販売しています。

半導体の種類（例）



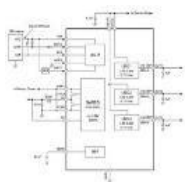
# 1. 会社概要

## 1-2. 電源ICへの想い

- 電気機器の小型化・省電力化に“電源”という観点から貢献することで企業理念の体現を目指しています。

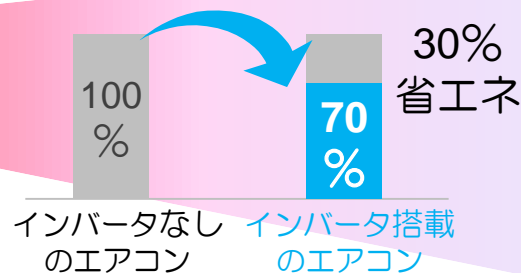
### 回路設計

部品配置最適化  
回路構成をツツ<sup>®</sup>ルに



## 省電力化

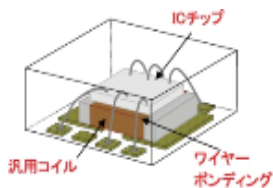
エアコンの消費電力量



【出典】ダイキンHPより

### パッケージ

部品を集約  
放熱性能を向上



## 小型化



機器の小型化



理念

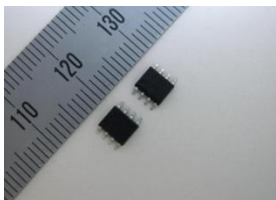
豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献

# 1. 会社概要

## 1-3. 主力製品群

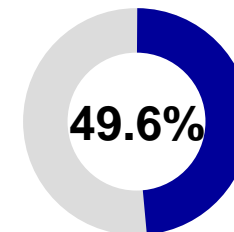
- VR、DC/DC、VDが当社の主力製品です。

### VR

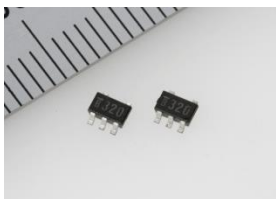


Voltage Regulatorの略（電圧レギュレータ）  
入力電圧を希望の出力電圧に変換

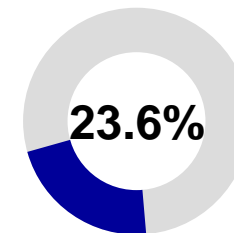
（2015年3月期実績）



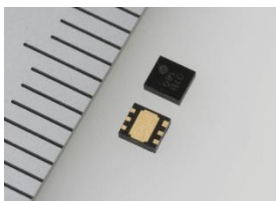
### DC/DC



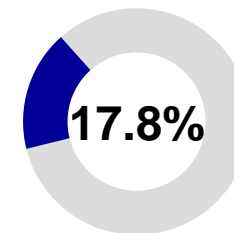
DC/DC Converterの略  
出力電圧が常に一定となるように制御



### VD



Voltage Detectorの略（電圧検出器）  
入力電圧を常に監視  
設定電圧以下となった時にアラームを出す



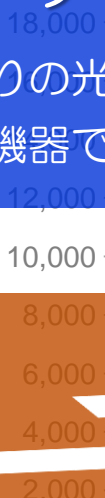
## 1-4. 当社の特長①

- 着実に一つ一つの商談を積み重ね、堅実に成長していく企業です。



### 世界はアナログでできている

身の回りの光・音・電気は全てアナログ  
全ての機器でアナログ処理が必要



### 一つ一つの商談の積み重ね

ライフサイクルは長いもので20年以上  
一つ一つの商談が安定売上を創り出す



### 電子化の進展

機器の高性能化に伴う電子化が進展  
必要となる電源ICの種類・数も増大



### 堅実な成長の実現

不採算取引の見直しと、高付加価値  
領域へのシフトで収益を安定化

## 1-4. 当社の特長②

- 開発、販売にアナログ技術のプロフェッショナル集団を有しています。

### 回路設計に踏み込んだ提案

開発-FAE(\*1)による営業サポートの下、  
アナログ電源を知り尽くした営業集団が  
ソリューションとしての製品提案を実施しています

(\*1) Field Application Engineer (技術営業)



開発

製造

検査・物流

販売

サービス



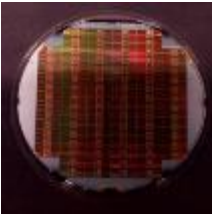

### アナログ電源IC設計に特化

1995年の創業から、アナログ電源ICという  
一つの分野を突き詰めてきたことで、  
高い専門性を有しています

# 1. 会社概要

## 1-4. 当社の特長③

- 前工程をファブレスとすることで、経営環境の変化に対する柔軟性を確保しています。

概要		選択肢	Quality	Cost		Delivery		狙い
			品質	原価	投資額	納期	新技術 対応期間	
前工程 	シリコン基板に回路を作り込む	自社所有	○	△	×	○	×	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; writing-mode: vertical-rl;">                     多額の設備投資等、柔軟な意思決定の阻害要因を排除                 </div>
	ファブレス	△	○	○	△	○		
後工程 	作り込まれた回路をパッケージに封入	自社所有	○	△	△	○	○	
	ファブレス	△	○	○	△	△		

当社の選択



内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）業績予想	16
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	17
1-2. 電源ICへの想い	4	3-2. 地域セグメント別	18
1-3. 主力製品群	5	3-3. 製品群別	19
1-4. 当社の特徴	6	3-4. アプリケーション別	20
2. 第20期（2015年3月期）実績	9	4. 狙いの新事業領域	21
2-1. P/LとB/S	10	4-1. 開発製品	22
2-2. 地域セグメント別	13	4-2. 市場動向	23
2-3. 製品群別	14		
2-4. アプリケーション別	15		

## 2. 第20期（2015年3月期）実績

### 2-1. P/LとB/S（P/L推移）

- 安定した収益水準を確保し、企業体質の改善を実現しました。

(単位：百万円)

科目	第17期 実績	第18期 実績	第19期 実績	第20期 実績	対前年 増減率(%)	対業績予想 増減率(%)
売上高	9,160	8,600	9,390	9,971	+6.2	+0.7
営業利益	41	566	1,414	1,350	▲4.5	▲4.9
経常利益	3	444	1,339	1,678	+25.4	+11.9
当期純利益	▲129	191	1,357	1,247	▲8.1	+13.4
平均為替 レート(1\$=)	78.8	82.3	99.7	109.2	—	—
営業利益率	0.4%	6.6%	15.1%	13.5%	▲1.6 (ポイント)	▲0.8 (ポイント)
海外売上高 比率	63.9%	69.0%	70.5%	71.7%	+1.2 (ポイント)	+0.3 (ポイント)
減価償却費	504	431	468	409	▲12.5	+3.5
設備投資	261	276	266	586	+120.0	▲30.9
ROE	—	3.1%	19.1%	13.3%	▲5.8 (ポイント)	+1.3

## 2. 第20期（2015年3月期）実績

### 2-1. P/LとB/S（4半期P/L）

- 第4四半期はほぼ10%の増収になりました。

(単位：百万円)

科目	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	対前年 増減率(%)
売上高	2,287	2,478	2,618	2,588	+9.8
営業利益	247	320	455	326	+0.4
経常利益	183	479	677	337	+33.1
当期純利益	116	308	455	366	+77.9
平均為替 レート(1\$=)	102.4	102.6	112.3	119.35	—
営業利益率	10.8%	12.9%	17.3%	12.6%	▲1.2% (ホ 1ト)

## 2. 第20期（2015年3月期）実績

### 2-1. P/LとB/S（B/S）

- 新株式発行で純資産が増えました。

(単位：百万円)

科目	前期末 実績	第20期末 実績	増減率 (%)
流動資産	9,410	10,753	+14.3%
固定資産	1,390	2,417	+73.9%
資産計	10,800	13,170	+21.9%
流動負債	2,413	1,886	▲21.8%
固定負債	482	394	▲18.2%
負債計	2,895	2,281	▲21.2%
純資産合計	7,904	10,889	+37.8%
負債純資産計	10,800	13,170	+21.9%

科目	前期末 実績	第20期末 実績
有利子負債 (百万円)	1,229	111
自己資本比率 (%)	72.9	82.3
D/Eレシオ	0.16	0.01
従業員数	329	342

## 2. 第20期（2015年3月期）実績

### 2-2. 地域セグメント別

- 全地域セグメントで増収となりました。

(単位：百万円)

(単位：百万円)	前期 実績			第20期 実績			前期比		
	売上高	営業利益	D-in 売上高	売上高	営業利益	D-in 売上高	売上高	営業利益	D-in 売上高
日本	2,767	1,293	4,258	2,813	1,207	4,274	101.6%	93.4%	100.4%
アジア	5,517	90	3,030	5,798	121	3,360	105.1%	134.9%	110.9%
欧州	599	15	1,370	707	7	1,546	118.1%	45.6%	112.9%
北米	505	5	731	652	14	789	129.1%	253.9%	107.9%
連結計	9,390	1,404	9,390	9,971	1,350	9,971	106.2%	96.2%	106.2%

**D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高**

当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高。

## 2. 第20期（2015年3月期）実績

### 2-3. 製品群別実績

- 全製品が伸びましたが、特にVRが貢献しました。

(単位：百万円)		前期 実績		第20期 実績		前期比	
		売上高		売上高		売上高	
VR	日本	4,613	1,187	4,941	1,162	107.1%	97.8%
	海外		3,426		3,779		110.3%
VD	日本	1,764	546	1,775	560	100.6%	102.5%
	海外		1,218		1,215		99.7%
DC/ DC	日本	2,296	807	2,356	834	102.6%	103.3%
	海外		1,489		1,522		102.2%
その他	日本	716	228	896	255	125.1%	111.8%
	海外		488		641		131.3%
連結合計		9,390		9,971		106.1%	

## 2. 第20期（2015年3月期）実績

### 2-4. アプリケーション別（参考値）

- 産業機器、車載機器向けの売上の構成比が引続き上昇傾向です。

(単位：百万円)		前期 実績		第20期 実績		前期比
		売上高	比率	売上高	比率	売上高
<b>IND</b>	産業機器	1,979	21.1%	2,378	23.8%	120.2%
<b>CAR</b>	車載機器	1,008	10.7%	1,241	12.4%	123.1%
<b>AMU</b>	アムューズメント機器	163	1.7%	117	1.2%	71.8%
<b>PC</b>	PC/PC周辺機器	1,358	14.5%	1,212	12.2%	89.2%
<b>COM</b>	コミュニケーション機器	624	6.6%	712	7.1%	114.1%
<b>AV</b>	デジタル家電機器	1,739	18.5%	1,847	18.5%	106.2%
<b>ENE</b>	充電機器	97	1.0%	68	0.7%	70.1%
<b>HOM</b>	家電/健康機器	679	7.2%	713	7.2%	105.0%
<b>MED</b>	医療機器	56	0.6%	87	0.9%	155.4%
<b>OTHER</b>	その他機器	1,683	17.9%	1,590	15.9%	94.5%

注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）業績予想	16
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	17
1-2. 電源ICへの想い	4	3-2. 地域セグメント別	18
1-3. 主力製品群	5	3-3. 製品群別	19
1-4. 当社の特徴	6	3-4. アプリケーション別	20
2. 第20期（2015年3月期）実績	9	4. 狙いの新事業領域	21
2-1. P/LとB/S	10	4-1. 開発製品	22
2-2. 地域セグメント別	13	4-2. 市場動向	23
2-3. 製品群別	14		
2-4. アプリケーション別	15		



### 3. 第21期（2016年3月期）業績予想

#### 3-1. 概況

- 増収増益を予想していますが、経常利益は減益の見通しです。

(単位：百万円)

科目	前期	第21期 予想	対前年 増減率(%)
売上高	9,971	11,000	+10.3
営業利益	1,367	1,400	+2.4
経常利益	1,678	1,350	▲19.6
当期純利益	1,247	950	▲23.9
平均為替 レート(1\$=)	¥109.2	¥115.0	—
営業利益率	13.7%	12.7%	▲1.0 (ポイント)
海外売上高 比率	71.7%	73.7%	+2.0 (ポイント)

(単位：百万円)

科目	前期	第21期 予想	対前年 増減率(%)
減価償却費	409	508	+24.2
設備投資	586	839	+43.2
ROE	13.3%	8.6%	▲4.7 (ポイント)

### 3. 第21期（2016年3月期）業績予想

#### 3-2. 地域セグメント別

- 北米を除く全ての地域で増収の見込です。

(単位：百万円)

(単位：百万円)	前期			第21期 予想			前期比		
	売上高	営業利益	D-in 売上高	売上高	営業利益	D-in 売上高	売上高	営業利益	D-in 売上高
日本	2,813	1,224	4,274	2,900	1,100	4,840	103.0%	91.1%	113.2%
アジア	5,798	121	3,360	6,800	300	3,450	117.2%	247.9%	102.6%
欧州	707	7	1,546	800	10	1,870	113.1%	142.8%	120.9%
北米	652	14	789	500	▲10	840	76.6%	—	106.4%
連結計	9,971	1,367	9,971	11,000	1,400	11,000	110.3%	103.7%	110.3%

**D-in 売上高：デザイン・イン・ベース売上高**

当社の製品を搭載した製品が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域をベースとした売上高。

### 3. 第21期（2016年3月期）業績予想

#### 3-3. 製品群別

- 国内、海外ともにDC/DCコンバータの売上が伸びる見込です。

(単位：百万円)		前期 実績		第20期 実績		前期比	
		売上高		売上高		売上高	
VR	日本	4,941	1,162	5,170	1,100	104.6%	94.7%
	海外		3,779		4,070		107.7%
VD	日本	1,775	560	1,560	520	87.9%	92.9%
	海外		1,215		1,040		85.6%
DC/ DC	日本	2,356	834	2,860	834	121.4%	109.1%
	海外		1,522		1,950		128.1%
その他	日本	896	255	1,410	310	157.4%	121.6%
	海外		641		1,100		171.6%
連結合計		9,971		11,000		110.3%	

# 3. 第21期（2016年3月期）業績予想

## 3-3. アプリケーション別（参考値）

- 産業機器、車載機器向けの売上構成比は4割を超えると予想しています。

(単位：百万円)

		前期		第21期予想		前期比
		売上高	比率	売上高	比率	売上高
<b>IND</b>	産業機器	2,378	23.8%	3,050	27.7%	128.2%
<b>CAR</b>	車載機器	1,241	12.4%	1,470	13.3%	118.4%
<b>AMU</b>	アムューズメント機器	117	1.1%	240	2.1%	205.1%
<b>PC</b>	PC/PC周辺機器	1,212	12.1%	1,210	11.0%	99.8%
<b>COM</b>	コミュニケーション機器	712	7.1%	410	3.7%	57.5%
<b>AV</b>	デジタル家電機器	1,847	18.5%	2,050	18.6%	110.9%
<b>ENE</b>	充電機器	68	0.6%	200	1.8%	294.1%
<b>HOM</b>	家電/健康機器	713	7.1%	1,260	11.4%	176.7%
<b>MED</b>	医療機器	87	0.8%	240	2.1%	275.8%
<b>WEA</b>	ウェアラブル機器	80	0.5%	220	2.0%	385.9%
<b>OTHER</b>	その他機器	1,509	15.3%	650	5.9%	42.3%

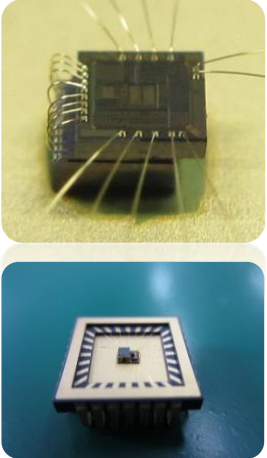
注：アプリケーションの分類は変更することがあります。

内容	頁	内容	頁
1. 会社概要	2	3. 第21期（2016年3月期）業績予想	16
1-1. 事業内容	3	3-1. 概況	17
1-2. 電源ICへの想い	4	3-2. 地域セグメント別	18
1-3. 主力製品群	5	3-3. 製品群別	19
1-4. 当社の特徴	6	3-4. アプリケーション別	20
2. 第20期（2015年3月期）実績	9	4. 狙いの新事業領域	21
2-1. P/LとB/S	10	4-1. 開発製品	22
2-2. 地域セグメント別	13	4-2. 市場動向	23
2-3. 製品群別	14		
2-4. アプリケーション別	15		

## 4-1. 開発製品

- スマートフォンやウェアラブル機器に使われる加速度センサーを開発しています。

**センサー  
技術導入**



### 加速度センサー搭載例と機能



画面が常に正しい向きで表示されるようにします。

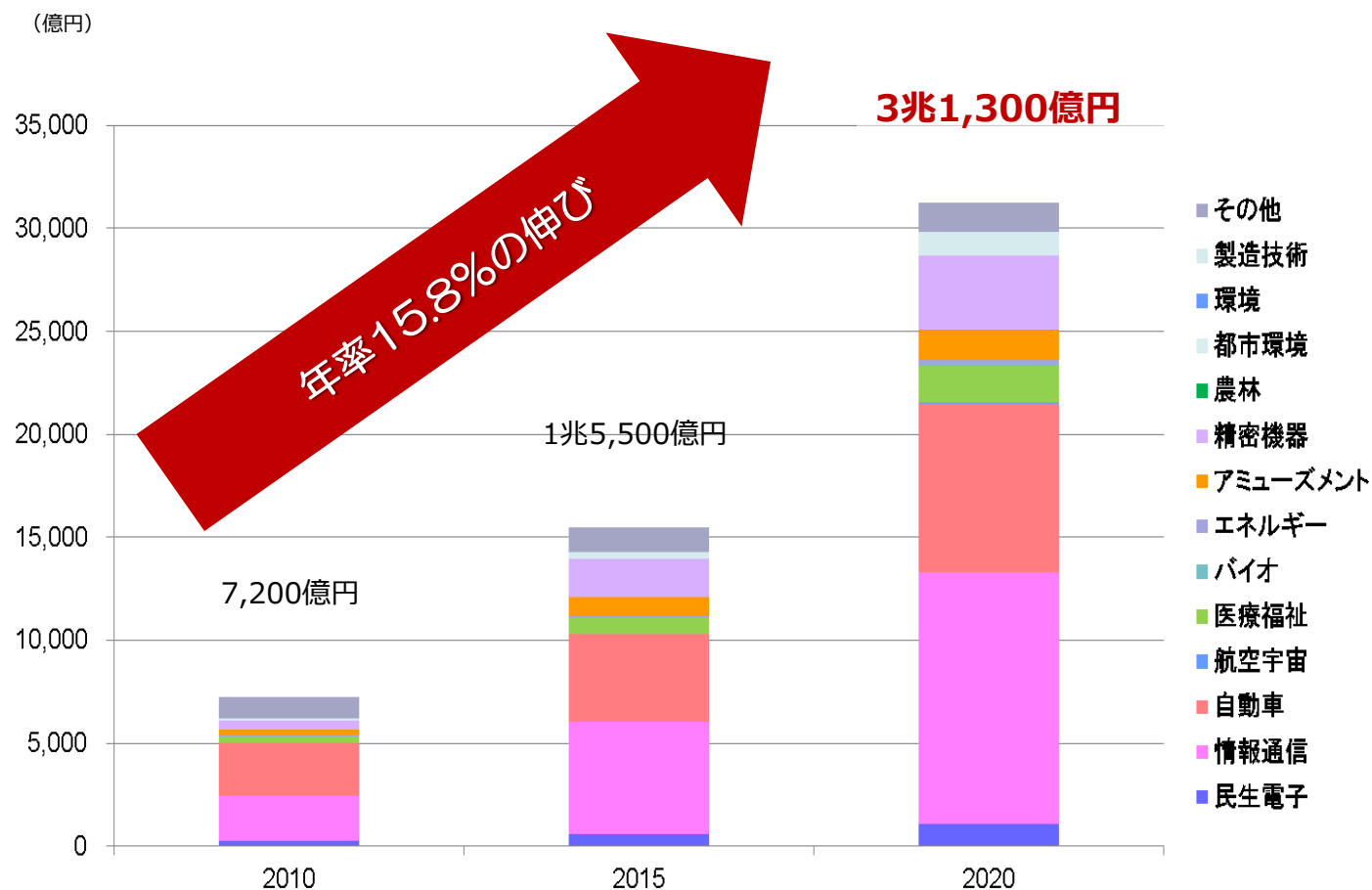
歩数や移動距離等に関するデータを測定します。



# 4. 狙いの新事業領域

## 4-2. 市場動向

- スマートフォン、活動量計を対象に1兆5千億円規模、年間成長率15.8%の国内市場を攻略します。



【出典】2012 MEMS関連市場の推移：一般財団法人マイクロマシンセンター

本資料に記載された内容は、2015年5月19日現在において一般的に入手可能な情報と、合理的と判断する一定の前提に基づき、当社が作成したものです。

本資料に記載されている当社の中期計画、見通し等に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

実際の業績は、これらの要素により本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

投資に関するご決定をされる際、本資料のみに全面的に依拠することはお控えいただき、みなさまご自身のご判断でなされるようお願い致します。



# Powerfully Small!

常に豊かな知性と感性を磨き、  
市場に適応した価値ある製品を創出し、  
豊かな社会の実現と  
地球環境の保全に貢献するとともに、  
私たちの事業に携わるすべての人々が  
共に繁栄すること

